

平成 30 年度

事業報告

令和元年

平成 30 年度事業報告

I. 庶務事項

1. 理事会および評議員会の開催
2. 官公庁への届出
3. 寄附受領
4. 設備投資等
5. 諸制度の整備・改定等
6. その他

II. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業(公益目的事業①)

1. 展示事業
2. 調査・研究・保存事業
3. 普及事業

[2] 大東急記念文庫事業(公益目的事業②)

◆収支決算等

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 附属明細書
4. 監査報告書

I. 庶務事項

1. 理事会および評議員会の開催

<第101回理事会>

監事候補者の理事会推薦者の承認ならびに評議員会の開催と招集の審議事項について、理事全員の同意および監事全員の意義のない旨の確認を得たので、平成30年4月14日付にて、第101回理事会として同案を可決した。

審議事項 監事候補者の理事会推薦者の承認について
評議員会の開催と招集について

<第96回評議員会>

監事の選任の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、平成30年4月28日付にて、第96回評議員会として同案を可決した。

審議事項 監事の選任について

<第102回理事会>

平成30年6月5日午前11時より第102回理事会を五島美術館本館集会室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第1号議案 平成29年度事業報告並びに収支決算等について
第2号議案 評議員候補者の選任並びに推薦について
第3号議案 理事候補者の選任並びに推薦について
第4号議案 諮問委員の選任について
第5号議案 定時評議員会の招集について
報告事項 職務の執行状況について

<第97回評議員会>

平成30年6月21日午後3時より第97回評議員会を東京急行電鉄株式会社役員会議室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第1号議案 平成29年度事業報告並びに収支決算等について
第2号議案 評議員の選任について
第3号議案 理事の選任について
第4号議案 理事の報酬について
報告事項 諮問委員の選任について

<第103回理事会(臨時)>

平成30年6月21日午後4時より第103回理事会(臨時)を東京急行電鉄株式会社役員会議室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第1号議案 代表理事(理事長)の選定について
第2号議案 業務執行理事(常務理事)の選定について

<第104回理事会>

平成31年3月12日午前11時より第104回理事会を五島美術館本館集会室において開催、下記の議案を審議、可決した。

第1号議案 平成31年度事業計画書ならびに収支予算書等について

第2号議案 評議員会の開催および招集について

報告事項 職務の執行状況について

<第98回評議員会>

平成31年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認の審議事項について、評議員全員の同意を得たので、平成31年3月21日付にて、第98回評議員会として同案を可決した。

審議事項 平成31年度事業計画書ならびに収支予算書等の承認

2. 官公庁への届出

- ・平成30年4月18日 変更の届出(監事1名の退任)内閣府
- ・平成30年5月18日 変更の届出(監事1名の就任)内閣府
- ・平成30年6月28日 平成29年度事業報告ならびに収支決算等の提出内閣府
- ・平成30年7月5日 変更の届出(理事5名の重任、評議員2名の辞任1名の就任)
.....内閣府
- ・平成31年3月27日 平成31年度事業計画書ならびに収支予算書等の提出内閣府

3. 寄付受領

<寄附金>

平成30年5月8日

- ・東京急行電鉄共済組合 130,000,000円

※130,000,000円全額を一般正味財産として受入れ

<美術品等受贈>

平成30年5月6日<五島美術館>

- ・飯田昌弘氏 刀剣類2件(刀・銘和泉守兼定作、小脇指・銘正一作)

平成30年8月30日<大東急記念文庫>

- ・檜崎 理氏 椋斎狩谷先生墓碣銘拓本

平成30年9月2日<五島美術館>

- ・岸本太郎氏 臨開皇本蘭亭叙

4. 設備投資等

- 「業平東下り図(伊勢物語富士山図)」(尾形光琳筆)の修理
 - <実施内容>
業平東下り図(伊勢物語富士山図) 一幅 修理 2,257,788 円(消費税別)
 - <実施時期>
平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

- 「大毗盧遮那経疏」卷第十六・十七(寛治二年写、築島裕氏寄贈)の修理
 - <実施内容>
「大毗盧遮那経疏」卷第十六・十七 二帖 修理 582,900 円(消費税別)
 - <実施時期>
平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

- パソコン更新
 - <実施内容>
事務所のパソコン更新(OS 変更) 16 台 4,305,600 円(消費税別)
 - <実施時期>
平成 30 年 4 月 16 日

- 本館収蔵庫(五島美術館ならびに大東急記念文庫)防塵防黴施工
 - <実施内容>
本館収蔵庫・防塵防黴施工(IPM) 640,000 円(消費税別)
 - <実施時期>
平成 30 年 5 月 25 日・30 日～31 日

- 国宝「源氏物語絵巻」4K 映像制作
 - <実施内容>
国宝「源氏物語絵巻」4K 映像撮影・編集・収録 2,337,500 円(消費税別)
 - <実施時期>
平成 30 年 7 月 6 日～12 月 31 日

- 国宝「紫式部日記絵巻」現状模写作成
 - <実施内容>
日本画家(復元模写)の加藤純子先生に作成委託 2,000,000 円(消費税別)
 - <実施時期>
平成 30 年 8 月 22 日～平成 31 年 3 月 31 日

- ・受贈作品「椽齋狩谷先生墓碣銘拓本」の修理
 - <実施内容>
 - 椽齋狩谷先生墓碣銘拓本 一幅 修理 135,000 円(消費税別)
 - <実施時期>
 - 平成 30 年 9 月 26 日～平成 31 年 3 月 8 日

- ・駐輪場土間設置工事
 - <実施内容>
 - 大型オートバイ対応・駐輪場改修工事 251,080 円(消費税別)
 - <実施時期>
 - 平成 30 年 10 月 10 日～15 日

- ・本館～別館連絡通路改修工事
 - <実施内容>
 - 本館～別館通用口・門扉等設置工事 2,330,000 円(消費税別)
 - <実施時期>
 - 平成 30 年 10 月 15 日～16 日

- ・国宝「源氏物語絵巻」4K 映像紹介コーナー用機材購入
 - <実施内容>
 - 4K 映像紹介コーナー用 4K 液晶テレビおよびテレビ台 164,245 円(消費税別)
 - <実施時期>
 - 平成 31 年 1 月 6 日

- ・照度計購入
 - <実施内容>
 - 展示室用・照度計新機種 1 台 141,750 円(消費税別)
 - <実施時期>
 - 平成 31 年 2 月 5 日

- 以上、設備投資等合計金額 15,145,863 円(消費税別) ※一部は経費計上

5. 諸制度の整備・改定等

- ・旅費規程の一部改訂(平成 30 年 10 月 1 日)
 - 宿泊料の上限額変更(税込 12,000 円→15,000 円)

6. その他

- ・美術館巡回バス「せたがや3館めぐる一ふ」実験運行終了

五島美術館・静嘉堂文庫美術館・世田谷美術館の3館協力により、平成30年1月20日から開始した東急バスの「せたがや3館めぐる一ふ」実験運行は平成30年12月9日をもって終了。

運行日数 71日(五島美術館・静嘉堂文庫美術館・世田谷美術館開館の土・休日)

運行便数 1日3往復6便

利用者数 2,628人(1日あたり37.0人)

現状の利用実績では路線バスとしての採算ラインに未達のため、既存路線を活用した今後の需要喚起策等について東急バスと継続協議中。

- ・「東急線&みなとみらい線&ぐるっとパス2018」のセット販売開始

東急電鉄ならびに横浜高速鉄道と東京都歴史文化財団の連携を仲介することにより、平成30年4月から新たにセット販売を東急線全駅(世田谷線、こどもの国線を除く)で開始。

- ・「世田谷まちなか観光交流協会」入会

世田谷区産業振興公社が主導する「世田谷まちなか観光交流協会」に平成30年5月に入会し、「世田谷まちなか観光情報コーナー」を通じて、世田谷区内の諸施設と告知面の連携を強化。

以上

Ⅱ. 主なる事業活動

[1] 五島美術館事業(公益目的事業①)

1. 展示事業

1-1. 入館者数

*単位は人

	有料	無料	計	入園者	合計	開館日	一日平均
1 [館蔵]春の優品展—詩歌と物語のかたち—(平成30年3月31日[土]—5月6日[日]) (平成30年3月31日を除く)	7,854	815	8,669	612	9,281	31	299
2 [館蔵]近代の日本画展(5月12日[土]—6月17日[日])	9,145	521	9,666	170	9,836	32	307
3 [館蔵]文房具の至宝展—机上の小宇宙—(6月23日[土]—7月29日[日])	3,517	657	4,174	70	4,244	32	133
4 [館蔵]秋の優品展—禅宗の美術と学芸—(8月25日[土]—10月14日[日])	6,414	575	6,989	201	7,190	44	163
5 [特別展]東西数寄者の審美眼—阪急・小林一三と東急・五島慶太のコレクション— (10月20日[土]—12月9日[日])	16,632	3,594	20,226	789	21,015	44	478
6 [館蔵]茶道具取合せ展(12月15日[土]—平成31年2月17日[日])	6,330	933	7,263	177	7,440	47	158
7 [館蔵]中国の陶芸展(平成31年2月23日[土]—3月31日[日])	4,638	539	5,177	218	5,395	32	169
合計	54,530	7,634	62,164	2,237	64,401	262	246

1-2. 特別展

[特別展]東西数寄者の審美眼—阪急・小林一三と東急・五島慶太のコレクション—

- ・期間=平成30年10月20日[土]—12月9日[日]
- ・特別鑑賞会・レセプション=平成30年10月19日[金]……………出席者155名
- ・講演会=平成30年10月28日[日] 齋藤康彦氏(山梨大学名誉教授)
「五島慶太(古経楼)と小林一三(逸翁)」……………聴講者143名
- ・講演会=平成30年11月11日[日] 仙海義之氏(逸翁美術館館長)
「小林一三 コレクションの形成と美術館構想」……………聴講者125名

*本展は重要文化財等公開促進事業による勧告出品にかかる輸送経費補助を受けた。

2. 調査・研究・保存事業

2-1. 調査・研究

- ・特別展等に際して、館外所蔵作品の調査を行った。
- ・改修後の展示設備をはじめとする館内設備の調査とデータ蓄積を継続した。
- ・収蔵する図書を整理し、情報の入力を継続した。また宇野雪村旧蔵書籍など貴重書のメンテナンスを行った。
- ・以上の成果の一部については、最新の研究紀要にて報告した。

2-2. 美術品の保存・補修

- (1) 蔵品のうちから、特に傷みの著しかった「業平東下り図(伊勢物語富士山図) 尾形光琳筆」について、修理先・修理方法に慎重な検討を加えた上で、修理を行った。平成 30 年度は、本修理に 2,257,788 円(消費税別)を要した。
- (2) 名物裂仕覆「紺地角竜金襴」(「瀬戸茶入 銘 神無月」付属)の欠損していた緒つがりを復元した。
- (3) 「井戸茶碗 銘 美濃」の経年劣化した名物裂モール仕覆の保護のため、新規の袋を制作。及び付属裂の修理を行った。
- (4) 収蔵庫の保存環境改善のため総合的な除塵防黴施工(IPM)を実施した。

2-3. 出版物

- (1) 『東西数寄者の審美眼—阪急・小林一三と東急・五島慶太のコレクション—』

- ・判型=A4判 ・発行日=平成 30 年 8 月 24 日
- ・編集=逸翁美術館学芸部、五島美術館学芸部・大東急記念文庫学芸部
- ・発行=公益財団法人阪急文化財団、公益財団法人五島美術館
- ・頁数=160 頁(カラー130 頁、図版 100 点所収)

- (2) 『五島美術館研究紀要』第 7 号

- ・判型=A4判 ・発行日=平成 31 年 3 月 31 日
- ・編集=五島美術館学芸部・大東急記念文庫学芸部
- ・発行=公益財団法人五島美術館

2-4. 美術品の他所への出品

- ・石川県立美術館……………国宝「無準師範墨跡「山門疏」(勸縁疏)」／他計 3 件
「美の力」(期間=平成 30 年 4 月 21 日～5 月 20 日)
- ・愛知県陶磁美術館……………「猿投灰釉長頸瓶」／計 1 件
「知られざる古代の名陶 猿投窯」(期間=平成 30 年 6 月 30 日～8 月 26 日)
- ・一般財団法人 毎日書道会……………「太田垣蓮月 短冊「よしや」」／他計 5 件
「墨魂の昂 近代書道の人々」(期間=平成 30 年 7 月 11 日～8 月 5 日)
- ・逸翁美術館……………重要文化財「佐竹本三十六歌仙絵 清原元輔像」／他計 42 件
「茶の湯交遊録Ⅲ 東西数寄者の審美眼 阪急・小林一三と東急・五島慶太のコレクション」
(期間=平成 30 年 8 月 25 日～10 月 14 日)
- ・徳川美術館……………重要文化財「観普賢経冊子」／他計 2 件
「もじえもじ—文字が絵になる、絵が文字になる—」(期間=平成 30 年 9 月 9 日～10 月 28 日)
- ・石水博物館……………「無地志野茶碗 荒川豊蔵作」／計 1 件
「川喜田半泥子と乾比根会—豊蔵・休和・陶陽 陶友たちとの桃山復興—」
(期間=平成 30 年 9 月 21 日～12 月 2 日)
- ・筆の里工房……………「色紙帖(和漢朗詠集) 本阿弥光悦筆 伝俵屋宗達下絵」／他計 2 件
「筆が奏でる琳派の美」(期間=平成 30 年 9 月 22 日～11 月 4 日)

- MOA 美術館……………国宝「古林清茂墨跡 餞別偈」／他計 4 件
「信長とクアトロ・ラガッツィ 桃山の夢と幻 + 杉本博司と天正少年使節が見たヨーロッパ」
(期間=平成 30 年 10 月 5 日～11 月 4 日)
- 田部美術館……………重要文化財「東陽徳輝墨跡 尺牘」／他計 5 件
「松平不昧」(期間=平成 30 年 10 月 6 日～11 月 11 日)
- 奈良市杉岡華邨書道美術館……………「梅の花 森田竹華筆 昭和 48 年」／他計 2 件
「近現代かな書の流れ3 現代かな書の成立」
(期間=平成 30 年 10 月 13 日～平成 31 年 1 月 14 日)
- ふくやま美術館……………短刀 銘 筑州住 行弘／計 1 件
「筑前左文字の名刀」(期間=平成 30 年 11 月 11 日～12 月 9 日)
- さわらび会……………「みずいろのパラソル」／他計 6 件
「さわらび会書展」(期間=平成 30 年 11 月 21 日～11 月 30 日)
- 刀剣博物館……………短刀 銘 筑州住 行弘／計 1 件
「筑前左文字の名刀」(期間=平成 31 年 1 月 12 日～2 月 11 日)
- 台東区立書道博物館……………「宋拓黄庭経心太平本」／他計 2 件
「王羲之書法の残影—唐時代への道程—」(期間=平成 31 年 1 月 4 日～3 月 3 日)
- 東京国立博物館……………「鶴岡齋帖 七帖」／計 1 件
「顔真卿 王羲之を超えた名筆」(期間=平成 31 年 1 月 16 日～2 月 24 日)

計 15ヶ所 78件

2-5. 美術品の写真掲載・利用

美術の教育普及の観点から、各種の美術図書やビデオ・テレビ番組などに、その内容に検討を加えた上で、当館収蔵の美術品の撮影および写真掲載使用を許可した(平成 30 年度は 155 件のべ 298 点)。

3. 普及事業

3-1. 普及事業(当館主催)

(1) ギャラリートーク(展示解説)—入館者を対象にして実施

•[館蔵]春の優品展—詩歌と物語のかたち—

「和歌と書」平成 30 年 4 月 5 日、4 月 26 日(別館講堂)……………参加者計 159 名

「物語絵の魅力」平成 30 年 4 月 13 日(別館講堂)……………70 名

「響きあう料紙と書」平成 30 年 4 月 20 日(別館講堂)……………76 名

「源氏物語絵巻について」平成 30 年 4 月 28 日、5 月 2 日、6 日(別館講堂)……………計 567 名

•[館蔵]近代の日本画展

「近代日本画の世界」平成 30 年 5 月 24 日、6 月 14 日(別館講堂)……………計 207 名

「漆のわざの見わけ方」平成 30 年 6 月 1 日(別館講堂)……………82 名

•[館蔵]文房具の至宝展—机上の小宇宙—

「宇野雪村の前衛書」平成 30 年 6 月 28 日(別館講堂)……………47 名

「文房具の見かた」平成 30 年 7 月 6 日、18 日(別館講堂)……………計 131 名

•[館蔵]秋の優品展—禅宗の美術と学芸—

「室町時代の表具裂」平成 30 年 8 月 30 日(別館講堂)……………58 名

- 「古写経に見る手業」平成30年8月31日(別館講堂)……………34名
 「禅僧と室町絵画」平成30年9月5日(別館講堂)……………54名
 「中国の墨跡」平成30年9月13日(別館講堂)……………62名
 「禅宗と出版物」平成30年9月27日(別館講堂)……………32名
 「日本の墨跡」平成30年10月4日(別館講堂)……………55名
 「紫式部日記絵巻について」平成30年10月11日、14日(別館講堂)……………計287名
- ・[特別展]東西数寄者の審美眼—阪急・小林一三と東急・五島慶太のコレクション—
 「逸翁と古経楼の書跡コレクション」平成30年10月23日(別館講堂)……………58名
 「名品絵画揃い踏み」平成30年10月31日(別館講堂)……………108名
 「あとの鳥が先になり—五島流「電撃的」コレクション」平成30年11月6日(別館講堂)……………58名
 「蕪村・呉春・芦雪の写生」平成30年11月22日(別館講堂)……………109名
 「数寄者としての逸翁と古経楼—茶道具を中心に」平成30年11月30日(別館講堂)……………180名
- ・[館蔵]茶道具取合せ展
 「茶道具取合せ展について」平成30年12月21日、平成31年1月18日(別館講堂)
 ………………計108名
 「仕覆と名物裂」平成30年12月22日、平成31年1月11日(別館講堂)……………計173名
 「古経楼と茶の湯」平成31年1月16日、2月5日(別館講堂)……………計131名
- ・[館蔵]中国の陶芸展
 「中国陶磁について」平成31年2月27日、3月27日(別館講堂)……………計159名
計7回の展示で34回実施 [のべ]3,005名参加

(2) 講演会—入館者を対象にして実施

- ・[館蔵]春の優品展—詩歌と物語のかたち—
 平成30年4月29日[日] 林温氏(慶應義塾大学教授)
 「日本美術と和歌の「かたち」」……………聴講者201名
- ・[館蔵]文房具の至宝展—机上の小宇宙—
 平成30年7月1日[日] 宇野公容氏(書芸文化院常務理事)・赤池艸裕氏(奎星会常任理事)・
 名児耶明(五島美術館副館長)
 鼎談「宇野雪村を語る」……………聴講者88名

(3) 青少年向け普及講座

- ①こども美術講座—小中学生を対象にして美術や日本文化について解説および体験学習を実施
 「王朝絵巻の世界」平成30年5月4日(本館集会室)……………計34名[こども17/大人17]
 「日本画を知ろう」平成30年6月3日(本館集会室)……………計8名[こども4/大人4]
 「墨とすずりの小宇宙」平成30年7月22日(本館集会室)……………計8名[こども3/大人5]
 「色んな筆、楽しい筆」平成30年7月29日(本館集会室)……………計22名[こども10/大人12]
 「お坊さんと書」平成30年8月26日(本館集会室)……………計7名[こども6/大人1]
 「王朝絵巻の世界」平成30年10月8日(本館集会室)……………計3名[こども1/大人2]
計6回実施 [のべ]計82名 こども41名 大人41名参加

②東京急行電鉄株式会社主催「とうきゅうキッズプログラム」

- 平成30年12月16日「美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！」(別館講堂・茶室)……参加者18名

③小学校への出張講義

・世田谷区立船橋小学校

平成 31 年 2 月 27 日「日本絵画について」……………6 年生約 120 名

④中高生向け講義

・東京学芸大学附属高等学校

平成 31 年 2 月 5 日 「美術館学芸員について」(本館集会室)……………20 名

(4) 団体見学および団体説明会

[館蔵]春の優品展—詩歌と物語のかたち—……………計 4 団体・計 84 名

[館蔵]近代の日本画展……………計 5 団体・計 147 名

[館蔵]文房具の至宝展—机上の小宇宙—……………計 1 団体・計 24 名

[館蔵]秋の優品展—禅宗の美術と学芸—……………計 3 団体・計 71 名

[特別展]東西数寄者の審美眼—阪急・小林一三と東急・五島慶太のコレクション—……………計 6 団体・計 186 名

[館蔵]中国の陶芸展……………計 2 団体・計 40 名

総計=21 団体・552 名

(5) ミュージアム・コンサート—入館者を対象にして実施

・クァルテット・リゾナンツァによる弦楽四重奏演奏会=平成 30 年 7 月 5 日[木]

1st Violin=白井篤/2nd Violin=山口裕之/Viola=小野聡/V.Cello=山内俊輔 (敬称略)

プログラム: ベートーヴェン 弦楽四重奏曲第 2 番ト長調 Op.18-2

ハイドン 弦楽四重奏曲第 76 番ニ短調「五度」Op.76-2、Hob.Ⅲ-76

シューマン 弦楽四重奏曲第 3 番イ長調 Op.41-3

入場料=3,500 円(友の会 3,000 円) 予約制……………参加者 193 名

・長唄演奏会—和のこころを聴く=平成 30 年 9 月 20 日[木]

三味線=杵屋五三魅、東音 村尾慎三、杵屋五助、杵屋五之吉/唄=杵屋六響、東音 半田昌恵、芳村伊四妙、杵屋利次郎/囃子=望月秀幸、望月左太寿郎、仙波貴之/笛=福原寛 (敬称略)

プログラム: 越後獅子 狂獅子 勸進帳

入場料=3,500 円(友の会 3,000 円) 予約制……………参加者 147 名

(6) 茶室公開—入館者を対象にして実施

公開日=平成 30 年 5 月 16 日[水]、平成 31 年 1 月 30 日[水]

普段は公開を制限している茶室(古経楼・富士見亭)を特別公開、解説及び呈茶を行った。

(7) 特別閲覧

・岩本 崇氏(1名:平成 30 年 5 月 26 日)……………伝 宮崎県持田古墳群 獣形鏡 計 7 件

・梶浦 晋氏(1名:平成 30 年 7 月 1 日)……………重要美術品梵網経 卷下 一卷 計 1 件

- ・城所和代氏他(2名:平成30年7月11日)……………張存義 古墨縁(宇野雪村コレクション) 計1件
- ・佐々木勇氏(1名:平成30年7月15日)……………重要美術品梵網経 卷下 一卷 計1件
- ・大山昭子氏(1名:平成30年10月24日)……………重要文化財駿牛図断簡 計1件
- ・岩本 崇氏(1名:平成31年2月1日・2月2日)……………
伝 奈良県生駒(大和匡生駒郡)出土 鼉龍鏡他 計12件
- ・茶道資料館(1名:平成31年2月19日)……………青貝布袋香合他 計3件
- ・広島県立美術館(1名:平成31年2月28日)……………重要文化財梅花小禽図 伝 馬麟筆他 計2件
- ・八代市立博物館未来の森ミュージアム(1名:平成31年3月1日)……………
唐物肩衝茶入 銘 安国寺 計1件

3-2. 友の会(特別会員制度)

美術教育普及のため、開館以来友の会制度を設け、今日に至っている。本年度の利用状況は次のとおり(平成31年3月31日現在)。

3-2-1. 美の友会(定員制度無し・入会した日より1年間有効)

- ・会員数=445名
- ・年会費=4,000円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「美の友会月例美術講座」の開催(聴講無料)。
- ・陶芸講座の開催(年3回の予定)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(1) 月例美術講座—美の友会会員を対象にして実施

美の友会会員を対象に下記の講座(各月1~3回)を開催した。各回とも一貫したテーマに即した主題を掲げ、五島美術館の所蔵品を中心にパワーポイントを使用してわかりやすい講座を行なった。 開催回数 29回 聴講者数 計のべ1,681名

・染織鑑賞シリーズⅪ「茶会記と染織」	担当=五島美術館学芸部 佐藤留実
第10回 平成30年 4月21日[土]	「松屋会記④」……………聴講者 52名
第11回	5月19日[土] 「松屋会記⑤」…………… 68名
第12回	6月16日[土] 「天王寺屋会記④」…………… 67名
第13回	7月21日[土] 「天王寺屋会記⑤」…………… 56名
第14回	9月15日[土] 「今井宗久書拔①」…………… 61名
第15回	12月15日[土] 「今井宗久書拔②」…………… 56名
第16回 平成31年 1月19日[土]	「槐記①」…………… 68名
第17回	2月16日[土] 「槐記②」…………… 66名
第18回	3月23日[土] 「逾好日記」…………… 48名

- ・分野別名品鑑賞シリーズⅡ「文房具の世界」 担当＝五島美術館学芸部 尾川明穂

第1回	平成30年	4月7日[土]	「墨の造形と色彩」	聴講者 77名
第2回		5月5日[土]	「硯の材質と鑑賞法」	69名
第3回		6月2日[土]	「印の石材と刻法」	56名
第4回		7月7日[土]	「紙の製法と装飾」	71名
第5回		9月1日[土]	「筆管装飾と筆毫」	46名

 - ・工芸鑑賞シリーズⅢ「工芸史拾い歩き一茶の湯編 其の二」 担当＝五島美術館学芸部 福島 修

第1回	平成30年	4月14日[土]	「茶道史をふりかえる」	聴講者 73名
第2回		5月12日[土]	「茶壺の価値」	65名
第3回		6月9日[土]	「胡銅の色」	40名
第4回		7月14日[土]	「菓子造の造形」	55名
第5回		9月8日[土]	「茶室と銘木」	68名

 - ・書跡鑑賞シリーズⅧ「近代書家の書」 担当＝五島美術館副館長 名児耶 明

第1回	平成30年	10月6日[土]	「上田桑鳩の書」	聴講者 47名
第2回		12月1日[土]	「大澤竹胎の書」	30名
第3回	平成31年	1月5日[土]	「宇野雪村の書」	51名
第4回		2月2日[土]	「森田竹華の書」	45名
第5回		3月2日[土]	「近代書家いろいろ」	43名

 - ・陶磁鑑賞シリーズⅦ「唐物茶入」 担当＝五島美術館学芸部 砂澤祐子

第1回	平成30年	10月13日[土]	「播座・大海・丸壺」	聴講者 72名
第2回		12月8日[土]	「茄子・尻膨・文琳」	73名
第3回	平成31年	1月12日[土]	「肩衝・小肩衝」	57名
第4回		2月9日[土]	「鶴首・瓢箪・驢蹄」	36名
第5回		3月9日[土]	「弦付・水滴・手瓶・耳付・瓶子・その他」	65名
- (2) 陶芸教室—美の友会会員を対象にして実施 *指導＝弘法窯スタッフ
- 下記の通り、当館第二講堂において陶芸講座を開催した。当日、参加者は形造りから絵付けまでを行って終了(一日教室)。後日、学芸部が岐阜県可児市の弘法窯の陶房まで輸送して、焼成(完成品は集会室にて手渡し)。また、電動ろくろ器を使用して制作する「中級編」も同時開催。
- ・第1回＝平成30年5月26日・27日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……………参加者計 54名
 - ・第2回＝平成30年9月22日・23日「志野焼・越前風自然釉焼締陶器」……………計 43名
 - ・第3回＝平成31年1月26日・27日「織部焼・越前風自然釉焼締陶器」……………計 40名
- ※第3回は、東急ハンズ募集の9名も参加した(16ページ参照)。 総計＝137名

3-2-2. 茶の友会 (定員制度・毎年度 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで有効)

- ・会員数=1,500 名
- ・会 費=5,000 円
- ・展覧会(特別展を含む)を何度でも鑑賞可能。
- ・特別展の講演会を無料で聴講可能。
- ・「茶の友会茶会」の開催(年 2 回・ただし、1 回につき実費 10,000 円程度必要)。
- ・展覧会や催物の案内を発送。

(1) 茶会—茶の友会会員を対象にして実施

- ・第 1 回秋季茶会=平成 30 年 11 月 15 日、16 日、17 日、18 日(4 日間) ……参加者計 754 名
 - ・第 2 回春季茶会=平成 31 年 3 月 14 日、15 日、16 日、17 日(4 日間) ……参加者計 831 名
- * 上記茶会に使用した美術品について学芸員が解説した。 総計=1,585 名

3-3. 外部との連携事業

(1) 他美術館との連携事業

- ・「秋の三館 美をめぐる 2018」

三井記念美術館・根津美術館・五島美術館 3館合同キャンペーン(平成 25 年度より継続実施)。

特別展「東西数寄者の審美眼—阪急・小林一三と東急・五島慶太のコレクション—」(10 月 20 日～12 月 9 日)の会期中、対象展覧会(三井記念美術館特別展「仏像の姿～微笑む・飾る・踊る～」、根津美術館特別展「新・桃山の茶陶」)の入館済み半券で他 2 館の入館料 100 円割引、3 館の入館済み半券でいずれか 1 館の次回展覧会に無料招待する。平成 30 年度、当館における割引利用入館者は 265 名、次回展の来館者は 118 名。

- ・Bunkamura とのタイアップ

東急文化村が運営する MY Bunkamura 登録者(約 48 万人)を対象とした情報発信等を通じてタイアップ企画を実施し、展覧会の告知と集客促進を図った。

- ① MY Bunkamura タイアップ企画「図録〈源氏物語絵巻〉プレゼント」

応募期間 平成 30 年 3 月 20 日～4 月 2 日 ……応募者 288 名／当選者 2 名

- ② MY Bunkamura タイアップ企画「ミニ図録〈近代の日本画〉プレゼント」

応募期間 平成 30 年 5 月 10 日～6 月 5 日 ……応募者 280 名／当選者 3 名

- ③ MY Bunkamura タイアップ企画「図録〈東西数寄者の審美眼〉プレゼント」

応募期間 平成 30 年 10 月 4 日～10 月 15 日 ……応募者 155 名／当選者 10 名

- ④ MY Bunkamura タイアップ企画「メガネケース〈茶道具柄〉プレゼント」

応募期間 平成 30 年 12 月 15 日～平成 31 年 1 月 6 日 ……応募者 723 名／当選者 5 名

- ⑤ MY Bunkamura タイアップ企画「図録〈時代の美 中国・朝鮮編〉プレゼント」

応募期間 平成 31 年 2 月 1 日～2 月 16 日 ……応募者 268 名／当選者 10 名

(2) 近隣館との連携事業

・美術館巡回バス「せたがや3館めぐる一ふ」運行

平成30年1月20日より運行を開始した東急バスの路線バス、二子玉川エリアの美術館(五島美術館・静嘉堂文庫美術館・世田谷美術館)を巡る「せたがや3館めぐる一ふ」を引き続き平成30年12月9日まで実験運行した。

運行期間＝平成30年1月20日～12月9日の土曜・休日(美術館3館同時開館日のみ運行)

・せたがや3館スタンプラリー

美術館巡回バス「せたがや3館めぐる一ふ」の利用促進のため、3館(五島美術館・静嘉堂文庫美術館・世田谷美術館)でスタンプラリーを実施した。3館のスタンプが揃ったキャンペーンチラシ1枚につき景品(3館のポストカードセット1組)をプレゼントした。

実施期間＝平成30年8月25日～12月9日

・静嘉堂文庫美術館 相互割引提携

静嘉堂文庫美術館との相互割引を継続して実施(平成28年8月27日より実施)。静嘉堂文庫美術館(常時)の有料入館券の半券提示で当館一般入館料から100円割引、当館有料入館券の半券提示で静嘉堂文庫美術館の正規入館料から200円を割引く。平成30年度、当館における割引利用入館者は140名。

・世田谷美術館 相互割引提携

世田谷美術館との相互割引を実施(平成29年4月1日より実施)。世田谷美術館(常時)の企画展の有料観覧券の半券提示で当館一般入館料から100円割引、当館有料入館券の半券提示で世田谷美術館の正規観覧料を団体料金(原則200円引き)に割引く。平成30年度、当館における割引利用入館者は46名。

(3) 東急グループとの連携事業

・特別鑑賞会「東急グループ感謝のつどい」

平成30年4月23日 特別展示、抹茶席(呈茶)他(本館展示室・茶室・庭園)……参加者249名

・東京急行電鉄株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」特別貸切鑑賞会

特別展示[国宝]源氏物語絵巻

平成30年4月28日 解説(集会室)・特別鑑賞(第2展示室)……参加者19名

特別展示[国宝]紫式部日記絵巻

平成30年10月10日 解説(集会室)・特別鑑賞(第1展示室)……参加者14名

・東京急行電鉄株式会社主催「東急ロイヤルクラブ」特別鑑賞デー

平成30年11月1日……参加者380名

・公益財団法人とうきゅう留学生奨学財団主催「茶道体験」(茶室)

平成30年10月12日……参加者22名

・とうきゅうキッズプログラム「美術館の茶室で抹茶を飲んでみよう！」(茶室・別館講堂)

平成30年12月16日……参加者18名

- ・東急ハンズ×五島美術館「美術館で楽しむ陶芸講座」(第二講堂)
平成31年1月26日、27日……………参加者計9名
- ・オズモール×東急グループコラボプロジェクト「キラリプラスカレッジ vol.7〈茶道と抹茶スイーツで楽しむ お茶の世界〉」
平成31年2月3日 茶道具レクチャー・茶道体験(別館講堂)……………参加者19名

(4) 大学との連携事業

- ・共立女子大学との連携事業

文化財保護・保存を推進し、学術研究機能の向上と人材の育成に寄与することを目的として、共立女子大学との連携事業を実施。平成30年度は、「源氏物語図屏風」収納袋の新規作成検討・制作を行った。

3-4. 博物館実習生の受け入れ

下記の通り、博物館法施行規則第1条で定める学芸員資格取得のための学生の博物館実習を当館の基準の下に受け入れ、その指導を行った(団体研修2大学のべ167名、実習生4大学4名)。

- ・期日＝平成30年6月2日・6月23日・12月22日
実習生＝東京学芸大学博物館実習生(団体研修)……………計115名
- ・期日＝平成30年9月19日・9月20日
実習生＝慶應義塾大学博物館実習生(団体研修)……………計52名
- ・期間＝平成30年11月7日～20日 計12日間(12日・19日休)
実習生＝昭和女子大学 人間文化学部 歴史文化学科……………1名
日本女子大学 文学部 史学科……………1名
学習院大学 人文科学研究科美学美術史学専攻……………1名
大東文化大学 文学部 書道学科……………1名

3-5. 講堂・茶室などの施設利用

(1) 本館集会室

当館理事会(平成30年6月5日、平成31年3月12日)、当館主催「こども美術講座」(平成30年5月4日他)、当館主催「陶芸講座」参加者作品展観(平成30年5月26日・27日、9月22日・23日、平成31年1月26日・27日)、墨蹟・画賛研究会(平成31年1月20日)、各種団体などへの解説、美術品写真撮影、博物館学講習会、館内諸会議などに使用。

(2) 別館講堂

当館主催「講演会」(平成30年4月29日他)、当館主催「ギャラリートーク」(平成30年4月5日他)、当館主催「美の友会月例美術講座」(毎月1～3回)、当館主催「茶の友会茶会」の道具説明会(平成30年11月15日～18日、平成31年3月14日～17日)、当館主催「ミュージアム・コンサート」(平成30年7月5日、9月20日)、東京急行電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成30年12月16日)、茶の湯文化学会例会(平成30年7月28日他)、書芸文化院主催「平安書道研究会」(平成30年12月2日他)などに使用。

(3) 第二講堂(見晴荘)

当館主催「陶芸講座」(平成30年5月26日・27日、9月22日・23日、平成31年1月26日・27日)、当館主催「茶の友会茶会」の点心席(平成30年11月15日～18日、平成31年3月14日～17日)、その他一般の茶会の点心席などに使用。

(4) 茶室(古経楼、富士見亭)

当館主催「茶の友会茶会」(平成30年11月15日～18日、平成31年3月14日～17日)、「茶室特別公開」(平成30年5月16日、平成31年1月30日)、東京急行電鉄株式会社主催「キッズプログラム」(平成30年12月16日)、その他一般の茶会などに使用。

4. その他

4-1. その他の協力事業および会議等への派遣

(1) 全国美術館会議総会への参加(館長他2名、平成30年5月17日、18日)。

(2) ICOM 日本委員会総会への参加(館長、平成30年5月23日)。

(3) 東京都博物館協議会総会・日本博物館協会東京支部総会への参加(館長、平成30年6月29日、平成31年1月18日)。

(4) 私立美術館会議分科会(館長他1名、平成30年6月27日)、私立美術館会議総会への参加(館長他1名、平成30年10月12日)。

(5) 全国博物館長会議への参加(館長、平成30年7月4日)。

(6) 東京の美術館・博物館等共通入館券2017実行委員会第2回総会(館長、平成30年7月5日)、東京の美術館・博物館等共通入館券2019実行委員会第1回総会への参加(館長、平成30年12月7日)。

(7) 文化庁の依頼により、生活文化調査研究事業に関わる技術審査専門員に副館長を登録、審査に参加(平成30年9月26日～10月31日)。

(8) 全国博物館大会東京大会への参加(館長他2名、平成30年11月28日～11月30日)。
※館長が東京大会実行委員会副委員長に就任。

(9) 美術資料買取協議会へ学芸員を派遣(東京国立博物館2回、九州国立博物館1回、文化庁1回)。

(10) 購入候補文化財の価格評価へ学芸員を派遣(東京国立博物館1回)。

(11) 国立文化財機構の依頼により、外部評価委員会委員に副館長を登録、会議に参加(平成30年5月29日)。

- (12) 文化庁の依頼により、芸術選奨選考審査員に副館長を登録、会議に参加(平成 30 年 12 月 14 日、平成 31 年 1 月 25 日)。
- (13) 公益財団法人日本博物館協会の依頼により学芸員を全国博物館大会東京大会実行委員会の運営担当として派遣(平成 30 年 11 月 28 日～11 月 29 日)。
- (14) 円覚寺の依頼により「宝物風入れ」の展示・撤去に学芸員を派遣(平成 30 年 11 月 3 日～11 月 5 日)。
- (15) 教育出版株式会社の依頼により教科書編集会議に学芸員を派遣。
- (16) 東京学芸大学の依頼により、副館長を博物館学および同実習の非常勤講師として派遣。
- (17) 東京藝術大学の依頼により、副館長を博物館実習および集中講義の講師として派遣。
- (18) 清泉女子大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (19) 京都造形芸術大学の依頼により、学芸員を芸術学部通信教育部の非常勤講師として派遣。
- (20) 武蔵野美術大学の依頼により、学芸員を工芸史の非常勤講師として派遣。
- (21) 國學院大學の依頼により、学芸員を書道史の非常勤講師として派遣。
- (22) 大谷大学真宗総合研究所の依頼により、学芸員を調査に派遣(平成 31 年 1 月 30 日～2 月 1 日)。
- (23) 一般財団法人筆の里振興事業団の理事として副館長が理事会に出席(平成 30 年 5 月 31 日、平成 31 年 3 月 19 日)。
- (24) 公益財団法人高梨学術奨励基金の評議員として副館長が評議員会に出席(平成 30 年 6 月 21 日)。
- (25) 一般社団法人書芸文化院の理事として副館長が理事会(平成 30 年 5 月 10 日、12 月 18 日、平成 31 年 3 月 24 日)、および総会(平成 30 年 5 月 10 日、平成 31 年 3 月 24 日)に出席。
- (26) 公益財団法人小堀遠州顕彰会の理事として館長が理事会に出席(平成 31 年 2 月 4 日)。
- (27) 公益財団法人日本博物館協会の監事として館長が理事会に出席(平成 31 年 3 月 14 日)。
- (28) 公益財団法人大師会の評議員として副館長が報告会および評議員会に出席。

- (29) 一般財団法人イセ文化財団の理事として副館長が理事会に出席。
- (30) 公益財団法人せたがや文化財団の理事として副館長が理事会に出席(平成30年5月25日、7月10日、平成31年2月22日)。
- (31) 一般財団法人イセ文化財団他主催「第19回ハッピーイースター卵あそびコンテスト」審査委員として学芸員を派遣(平成30年8月1日)。
- (32) 福岡県美術展覧会実行委員会の依頼により「第74回福岡県美術展覧会」審査員として副館長を派遣(平成30年7月31日、8月1日)。
- (33) 公益社団法人日展の依頼により「改組 新 第5回日展」第5科書審査員として副館長を登録、会議・審査に参加。
- (34) 宮崎県立美術館の依頼により「宮崎県宮崎美術展」審査員および同展講演会講師として副館長を派遣(平成31年2月14日、2月15日、3月9日)。
- (35) 逸翁美術館の依頼により、副館長を特別展講演会講師として派遣(平成30年10月7日)。
- (36) 埼玉県高等学校書道教育研究会の依頼により、副館長を講演会講師として派遣(平成30年5月15日)。
- (37) 中国人民対外友好協会の依頼により、副館長を講師として派遣(平成30年8月8日)。
- (38) 越前装飾料紙シンポジウム実行委員会の依頼により、副館長を講演会講師として派遣(平成30年10月28日)。
- (39) さわらび会の依頼により、副館長を講演会講師として派遣(平成30年11月25日)。
- (40) 日本博物館協会の依頼により、「美術品梱包輸送技能取得士認定制度に関する委員会」会議(平成30年4月18日、10月24日、平成31年1月29日)および同試験(平成30年8月4日、平成31年2月16日・17日・19日)、「博物館登録制度の在り方に関する調査研究委員会」(平成31年2月4日)、『博物館研究』編集委員会(平成30年11月13日)に副館長が参加。
- (41) 第11回指定文化財(美術工芸品)企画・展示セミナーへの参加(平成30年6月25日～6月29日)。
- (42) 第65回日本伝統工芸展(全国12都市にて開催:会期 平成30年9月～平成31年3月)奨励賞に協賛。
- (43) 世田谷区のセント・メリーズ・インターナショナル・スクール学園祭に協賛。

4-2. 学会・研究会

- (1) 茶の湯文化学会東京例会(平成30年7月28日)、董其昌書画芸術国際検討会(平成31年1月22日～24日)にて、研究成果を発表。
- (2) 美術史学会、書学書道史学会、全国博物館学会、東洋陶磁学会、茶の湯文化学会、全国美術館会議、全国博物館長会議、私立美術館会議(以上大会及び例会出席)。
- (3) 日本貿易陶磁研究会研究集会、源氏絵データベース研究会、茶書研究会、書論研究会、近代金石研究会、日本書道史研究会、墨蹟・画賛研究会に参加。

[2] 大東急記念文庫事業(公益目的事業②)

1. 図書保存

- (1) 収蔵庫内の参考書誌、図書資料等と和古書との分離収納作業を行なった。
- (2) 所蔵資料の保存状態を調査し、修理・補修リストに記載した。
- (3) 庫内に適度の防虫剤を施した。また防塵、除湿、防災には万全を期し、予防策として IPM を実施した。
- (4) 不慮の災害に備え、写真撮影による副本作りを行った。平成 30 年度は、『大般若波羅蜜多経』等を撮影した。

2. 図書修理

- (1) 『掖斎狩谷先生墓碣銘拓本』一幅(大正十一年拓、檜崎理氏寄贈)を修理。本資料に関する平成 30 年度の修理費は 135,000 円(消費税別)である。
- (2) 『大毗盧遮那経疏』卷第十六・十七(寛治二年写、築島裕氏寄贈)の二帖を修理、継続中である。本資料に関する平成 30 年度の修理費は 582,900 円(消費税別)である。

3. 図書収集

- (1) 閲覧参考資料
「人物叢書」等を継続購入中である。
- (2) 出版文化史参考資料
本年度は購入しなかった。
- (3) 古典籍参考資料
本年度は購入しなかった。

4. 図書調査

- ・国文学研究資料館の依頼により、最明寺(神奈川県足柄上郡)の資料調査を行なった。

5. 図書閲覧

(1) 個人閲覧

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館日数			26	22	22	25	6	26	22	26	17	23	20	27	262 日
閲覧者数			5	8	7	18	1	8	14	8	15	5	8	5	102 人
閲覧図書	国書		15	7	16	32	0	2	36	6	42	6	11	10	183 点
	漢籍		4	0	3	6	2	2	11	1	11	2	4	0	46 点
	仏書		2	18	2	26	0	36	12	7	25	20	20	4	172 点
	その他		1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	4 点
計			22	25	21	64	2	40	61	15	78	28	35	14	405 点

(2) 団体閲覧

- ・平成 30 年 6 月 16 日 全国漢文教育学会 (7 点／於集会室) …………… 26 名
- ・平成 30 年 10 月 6 日 慶應義塾大学大学院生ほか (50 点／於集会室) …………… 7 名
- ・平成 31 年 3 月 6 日 科研「中国典籍日本古写本研究の精密化と国際的情報発信」
調査メンバー (13 点／於集会室) …………… 6 名

6. 出版物の編集・刊行・頒布・委託出版(主なもの)

(1) 頒布

- ・機関誌「かがみ」第 49 号
- ・『典籍逍遙—大東急記念文庫の名品』
- ・公開講座講演録

(2) 委託販売

- ・大東急記念文庫善本叢刊中古・中世篇(汲古書院)—継続刊行中
- ・大東急記念文庫善本叢刊近世篇(全 18 巻別巻 1 巻)(汲古書院)
- ・大東急記念文庫所蔵『芥子園画伝』初集・二集・三集(勉誠出版)
- ・マイクロフィルム版「江戸文学総瞰」「物語文学総瞰」(丸善雄松堂)

7. 普及

(1) 出版物受贈(主なもの)

- ・『漢文訓讀史の研究Ⅷ』 1 冊(小林芳規氏)
- ・『東京市史稿 産業篇 第五十九』 1 冊(東京都公文書館)
- ・『岩崎文庫貴重書書誌解題Ⅸ』 1 冊(東洋文庫)
- ・『磧砂版大蔵経目録 第四冊』『同 第五冊』『同 第六冊』 各 1 冊(杏雨書屋)

(2) 図書資料撮影、掲載、出版、翻印等許可

・各種団体

江東区深川江戸資料館、亀岡市文化資料館、慶應義塾福澤研究センター、国立歴史民俗博物館、三徳庵、須賀川市文化振興会、奈良県立万葉文化館等

・出版社等

NHK 仙台放送局、研文社、書芸文化新社、新潮社、新典社、東京堂出版、勉誠出版、早稲田大学出版部等

・個人

研究者等 7 名

8. 展示

(1) 他所への貸出

- ・いわき市勿来関文学歴史館 …………… 「桜川」／計 1 件
企画展「西山宗因といわき」(期間=平成 30 年 7 月 28 日～10 月 16 日)

- ・逸翁美術館…………… 国宝「白描絵料紙理趣経(目無経)」／他計 7 件
「茶の湯交遊録Ⅲ 東西数寄者の審美眼 阪急・小林一三と東急・五島慶太のコレクション」
(期間＝平成 30 年 8 月 25 日～10 月 14 日)
- ・徳川美術館…………… 重要文化財「般若理趣経 藤原教長筆」／計 1 件
特別展「もじえもじ—文字が絵になる、絵が文字になる—」(期間＝平成 30 年 9 月 9 日～10 月 28 日)
- ・名古屋市博物館……………「画学斎過眼図藁」／計 1 件
特別展「画僧 月僊」(期間＝平成 30 年 12 月 15 日～平成 31 年 1 月 27 日)
- ・サントリー美術館……………「暁斎絵日記」／計 1 件
特別展「河鍋暁斎 その手につけぬものなし」(期間＝平成 31 年 2 月 6 日～3 月 31 日)
- ・埼玉県立歴史と民俗の博物館……………「鎌倉時代縁起残欠」／計 1 件
特別展「東国の地獄極楽」(期間＝平成 31 年 3 月 16 日～令和元年 5 月 6 日)

計 6ヶ所 12件

(2) 五島美術館への出陳

- ・[館蔵]春の優品展—詩歌と物語のかたち—
…………… 重要文化財「顕季集」・重要文化財「手鑑」・重要文化財「白氏文集」他／計 18 件
- ・[館蔵]秋の優品展—禅宗の美術と学芸—
……………「水月観音像」・「仏光禅師語録」・「花伝書ぬきがき條々」他／計 17 件
- ・[特別展]東西数寄者の審美眼—阪急・小林一三と東急・五島慶太のコレクション—
…………… 国宝「白描絵料紙理趣経(目無経)」・重要文化財「過去現在絵因果経」他／計 7 件
- ・[館蔵]茶道具取合せ展
……………「茶室起絵図」／計 1 件

9. 国等各種公共機関・団体への協力と職員の派遣

- ・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の調査員として国文学関係資料の調査に協力した。
- ・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国文学研究資料館の基盤研究 A「日本古典籍における表記情報学の発展的研究」について、第 4 回日本語の歴史的典籍国際研究集会に参加した。

10. その他

- ・平成 31 年に大東急記念文庫が創立 70 周年を迎えるにあたり、他の特殊文庫との連携を視野に入れた特別展示・イベント・講演会等、記念事業の準備を進めた。

貸借対照表
2019年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	46,739,025	72,545,778	△ 25,806,753
未収金	2,624,409	3,134,240	△ 509,831
前払金	2,271,781	2,385,051	△ 113,270
棚卸資産	24,864,483	23,673,665	1,190,818
有価証券	7,764,596	7,764,596	0
仮払金	43,200	0	43,200
流動資産合計	84,307,494	109,503,330	△ 25,195,836
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	1,139,685,568	1,139,685,568	0
建物	1,291,773,540	1,357,957,483	△ 66,183,943
立木	1,000,000	1,000,000	0
美術品	1,136,631,000	1,134,631,000	2,000,000
古典籍	133,405,570	133,255,570	150,000
什器備品	2,156,002	2,744,002	△ 588,000
投資有価証券	728,359,057	728,359,057	0
基本財産合計	4,433,010,737	4,497,632,680	△ 64,621,943
(2) 特定資産			
積立預金	96,000,000	96,000,000	0
特定資産合計	96,000,000	96,000,000	0
(3) その他固定資産			
美術品	194,959,325	194,929,325	30,000
什器備品	12,234,221	10,461,558	1,772,663
ソフトウェア	1,657,698	0	1,657,698
保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	208,901,244	205,440,883	3,460,361
固定資産合計	4,737,911,981	4,799,073,563	△ 61,161,582
資産合計	4,822,219,475	4,908,576,893	△ 86,357,418
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,787,819	7,301,035	△ 2,513,216
前受金	6,535,000	6,575,000	△ 40,000
預り金	1,979,280	1,897,176	82,104
流動負債合計	13,302,099	15,773,211	△ 2,471,112
2. 固定負債			
退職給付引当金	4,486,262	17,080,202	△ 12,593,940
固定負債合計	4,486,262	17,080,202	△ 12,593,940
負債合計	17,788,361	32,853,413	△ 15,065,052
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,798,495,678	3,862,529,621	△ 64,033,943
(うち基本財産への充当額)	(3,702,495,678)	(3,766,529,621)	(△ 64,033,943)
(うち特定資産への充当額)	(96,000,000)	(96,000,000)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	(730,515,059)	(731,103,059)	(△ 588,000)
正味財産合計	4,804,431,114	4,875,723,480	△ 71,292,366
負債及び正味財産合計	4,822,219,475	4,908,576,893	△ 86,357,418

財産目録

平成31年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
現金 預金 未収金 前払金 棚卸資産 有価証券 仮払金		手元保管	運転資金	3,031,725
		普通預金	運転資金	20,840,313
		みずほ上野毛①		17,833,865
		みずほ上野毛②		267,584
		みずほ上野毛③		703,906
		三菱UFJ玉川①		2,034,958
		定期預金	運転資金	22,866,987
		三菱UFJ定期		22,866,987
			売掛金	2,624,409
			次年度展覧会準備費用	2,271,781
		図録・ショップ商品	24,864,483	
			7,764,596	
			43,200	
流動資産合計				84,307,494
(固定資産)				
基本財産				
	土地	世田谷区上野毛3-9-25		4,433,010,737
	土地(指定)	19903.86平米	公益目的保有財産であり、公的 目的事業及び管理運営の用に供して いる。	1,139,685,568
	建物			1,291,773,540
	建物(指定)	本館・別館・茶室2棟・ 陶芸教室	公益目的保有財産であり、公的 目的事業及び管理運営の用に供して いる。	1,291,773,540
	立木			1,000,000
	立木(指定)	樹木・石造物	公益目的保有財産であり、公的 目的事業の用に供している。	1,000,000
	美術品			1,136,631,000
	美術品(指定)	美術工芸品 2,618件	公益目的保有財産であり、公的 目的事業の用に供している。	1,136,631,000
	古典籍			133,405,570
	古典籍(指定)	古典籍 21,840冊	公益目的保有財産であり、公的 目的事業の用に供している。	133,405,570
	什器備品			2,156,002
	什器備品(一般)	展示用備品・収蔵棚	公益目的保有財産であり、公的 目的事業及び管理運営の用に供して いる。	2,156,002
	投資有価証券			728,359,057
	投資有価証券(一般)	国債・地方債・社債・株式	公益目的保有財産であり運用益を 公益目的事業の財源としている。	728,359,057
特定資産				
	積立預金			96,000,000
	積立預金(指定)	三菱UFJ・みずほ	公的 目的事業及び管理運営のため の資産である。	96,000,000
その他固定資産				
	美術品	美術工芸品	公益目的保有財産であり、公的 目的事業の用に供している。	194,959,325
	什器備品	パソコン・事務機器	公益目的保有財産であり、公的 目的事業及び管理運営の用に供して いる。	12,234,221
	ソフトウェア	源氏物語絵巻ビデオ	公益目的保有財産であり、公的 目的事業及び管理運営の用に供して いる。	1,657,698
	保証金			50,000
固定資産合計				4,737,911,981
資産合計				4,822,219,475
(流動負債)				
	未払金		売掛金	4,787,819
	前受金		次年度茶の友会会費	6,535,000
	預り金		社会保険料	1,979,280
流動負債合計				13,302,099
(固定負債)				
	退職給付引当金			4,486,262
固定負債合計				4,486,262
負債合計				17,788,361
正味財産				4,804,431,114

予算対比正味財産増減計算書

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,530,000]	[11,490,389]	[39,611]
特定資産運用益	[10,000]	[0]	[10,000]
公益事業収益	[136,074,000]	[129,800,740]	[6,273,260]
受取寄付金	[198,970,000]	[199,001,423]	[△ 31,423]
雑収	[70,000]	[307,203]	[△ 237,203]
経常収益計	346,654,000	340,599,755	6,054,245
(2) 経常費用			
事業費	[325,394,000]	[314,622,806]	[10,771,194]
管理費	[20,427,000]	[28,447,889]	[△ 8,020,889]
経常費用計	345,821,000	343,070,695	2,750,305
評価損益等調整前当期経常増減額	833,000	△ 2,470,940	3,303,940
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	833,000	△ 2,470,940	3,303,940
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[0]	[3]	[△ 3]
指定正味財産へ振替	[3,000,000]	[4,787,480]	[△ 1,787,480]
経常外費用計	3,000,000	4,787,483	△ 1,787,483
当期経常外増減額	△ 3,000,000	△ 4,787,483	1,787,483
当期一般正味財産増減額	△ 2,167,000	△ 7,258,423	5,091,423
一般正味財産期首残高	1,013,193,859	1,013,193,859	0
一般正味財産期末残高	1,011,026,859	1,005,935,436	5,091,423
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[0]	[150,000]	[△ 150,000]
一般正味財産からの振替額	[3,000,000]	[4,787,480]	[△ 1,787,480]
一般正味財産への振替額	[△ 68,970,000]	[△ 68,971,423]	[1,423]
当期指定正味財産増減額	△ 65,970,000	△ 64,033,943	△ 1,936,057
指定正味財産期首残高	3,862,529,621	3,862,529,621	0
指定正味財産期末残高	3,796,559,621	3,798,495,678	△ 1,936,057
III 正味財産期末残高	4,807,586,480	4,804,431,114	3,155,366

予算対比正味財産増減計算書

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,530,000]	[11,490,389]	[39,611]
基本財産受取利息	9,426,000	9,022,021	403,979
基本財産受取配当	2,104,000	2,468,368	△ 364,368
特定資産運用益	[10,000]	[0]	[10,000]
特定資産受取利息	10,000	0	10,000
公益事業収益	[136,074,000]	[129,800,740]	[6,273,260]
展示事業収益	55,353,000	53,304,360	2,048,640
調査研究事業収益	8,750,000	8,133,636	616,364
普及事業収益	20,500,000	19,160,100	1,339,900
文庫事業収益	1,700,000	807,585	892,415
カレンダー一収益	39,671,000	38,198,384	1,472,616
売店収益	10,100,000	10,196,675	△ 96,675
受取寄付金	[198,970,000]	[199,001,423]	[△ 31,423]
受取寄付金	130,000,000	130,030,000	△ 30,000
受取寄付金振替額	68,970,000	68,971,423	△ 1,423
雑収益	[70,000]	[307,203]	[△ 237,203]
受取利息	50,000	9,568	40,432
有価証券運用益	10,000	0	10,000
雑収益	10,000	297,635	△ 287,635
経常収益計	346,654,000	340,599,755	6,054,245
(2) 経常費用			
事業費	[325,394,000]	[314,622,806]	[10,771,194]
役員報酬	7,179,000	6,495,918	683,082
給料	93,474,000	89,446,815	4,027,185
臨時雇賃金	11,541,000	12,789,726	△ 1,248,726
退職給付費用	3,224,000	7,756,800	△ 4,532,800
福利厚生費	15,740,000	16,164,994	△ 424,994
会議費	340,000	42,000	298,000
旅費	200,000	427,383	△ 227,383
交通費	100,000	65,000	35,000
通減価償却費	5,060,000	4,838,565	221,435
消耗什器備品費	69,348,000	69,959,958	△ 611,958
消耗什器備品費	997,000	957,493	39,507
消耗什器備品費	925,000	942,678	△ 17,678
修理費	5,000,000	4,530,276	469,724
修理費	4,800,000	3,501,287	1,298,713
印刷製本費	13,439,000	8,375,821	5,063,179
宣伝水料	6,100,000	6,098,411	1,589
光熱費	7,225,000	7,354,365	△ 129,365
保険料	864,000	828,000	36,000
諸謝金	150,000	0	150,000
租税公課	4,620,000	4,909,200	△ 289,200
庭園管理費	5,000,000	4,102,064	897,936
委託費	13,352,000	12,555,980	796,020
展覧会費	10,230,000	7,420,008	2,809,992
催物費	14,850,000	14,244,622	605,378
調査研究費	5,800,000	5,195,157	604,843
雑費	1,110,000	794,518	315,482
カレンダー一制作費	17,800,000	18,386,954	△ 586,954

科 目	予算額	決算額	差 異
シ ョ ッ プ 原 価	6,926,000	6,438,813	487,187
管 理 費	[20,427,000]	[28,447,889]	[△ 8,020,889]
役 員 報 酬	3,700,000	4,330,612	△ 630,612
給 料 手 当	8,685,000	15,602,544	△ 6,917,544
退 職 給 付 費	76,000	239,901	△ 163,901
福 利 厚 生 費	1,010,000	1,916,655	△ 906,655
会 議 費	310,000	207,103	102,897
旅 費 交 通 費	110,000	0	110,000
交 際 費	210,000	218,408	△ 8,408
通 信 運 搬 費	408,000	181,410	226,590
減 価 償 却 費	3,661,000	3,682,103	△ 21,103
消 耗 什 器 備 品 費	53,000	0	53,000
消 耗 品 費	105,000	0	105,000
印 刷 製 本 費	64,000	0	64,000
光 熱 水 料 費	375,000	382,649	△ 7,649
諸 謝 金	1,450,000	1,592,040	△ 142,040
雑 費	210,000	94,464	115,536
経常費用計	345,821,000	343,070,695	2,750,305
評価損益等調整前当期経常増減額	833,000	△ 2,470,940	3,303,940
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	833,000	△ 2,470,940	3,303,940
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固 定 資 産 除 却 損	[0]	[3]	[△ 3]
指 定 正 味 財 産 へ 振 替	[3,000,000]	[4,787,480]	[△ 1,787,480]
受 取 寄 付 金 振 替 額	3,000,000	4,787,480	△ 1,787,480
経常外費用計	3,000,000	4,787,483	△ 1,787,483
当期経常外増減額	△ 3,000,000	△ 4,787,483	1,787,483
当期一般正味財産増減額	△ 2,167,000	△ 7,258,423	5,091,423
一般正味財産期首残高	1,013,193,859	1,013,193,859	0
一般正味財産期末残高	1,011,026,859	1,005,935,436	5,091,423
II 指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[0]	[150,000]	[△ 150,000]
一 般 正 味 財 産 か ら の 振 替 額	[3,000,000]	[4,787,480]	[△ 1,787,480]
受 取 寄 付 金 振 替 額	3,000,000	4,787,480	△ 1,787,480
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	[△ 68,970,000]	[△ 68,971,423]	[1,423]
受 取 寄 付 金	△ 68,970,000	△ 68,971,423	1,423
当期指定正味財産増減額	△ 65,970,000	△ 64,033,943	△ 1,936,057
指定正味財産期首残高	3,862,529,621	3,862,529,621	0
指定正味財産期末残高	3,796,559,621	3,798,495,678	△ 1,936,057
III 正味財産期末残高	4,807,586,480	4,804,431,114	3,155,366

正味財産増減計算書内訳表

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益事業会計				法人会計	合 計
	美術館	文庫	公益共通事業	小 計	法人	
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本金	504,990	0	10,985,399	11,490,389	0	11,490,389
基金	0	0	9,022,021	9,022,021	0	9,022,021
公本	504,990	0	1,963,378	2,468,368	0	2,468,368
展覧調査研究費	128,993,155	807,585	0	129,800,740	0	129,800,740
文庫	53,304,360	0	0	53,304,360	0	53,304,360
研究費	8,133,636	0	0	8,133,636	0	8,133,636
寄附金	19,160,100	0	0	19,160,100	0	19,160,100
受取利息	0	807,585	0	807,585	0	807,585
受取配当	38,198,384	0	0	38,198,384	0	38,198,384
受取金	10,196,675	0	0	10,196,675	0	10,196,675
受取利息	30,000	0	167,022,852	167,052,852	31,948,571	199,001,423
受取配当	30,000	0	101,500,000	101,530,000	28,500,000	130,030,000
受取利息	0	0	65,522,852	65,522,852	3,448,571	68,971,423
受取配当	172,866	0	9,568	182,434	124,769	307,203
受取利息	0	0	9,568	9,568	0	9,568
受取配当	172,866	0	0	172,866	124,769	297,635
経常収益計	129,701,011	807,585	178,017,819	308,526,415	32,073,340	340,599,755
(2) 経常費用						
役員報酬	292,926,221	21,696,585	0	314,622,806	0	314,622,806
役員報酬	6,495,918	0	0	6,495,918	0	6,495,918
役員報酬	78,421,513	11,025,302	0	89,446,815	0	89,446,815
役員報酬	12,789,726	0	0	12,789,726	0	12,789,726
役員報酬	6,477,328	1,279,472	0	7,756,800	0	7,756,800
役員報酬	13,904,788	2,260,206	0	16,164,994	0	16,164,994
役員報酬	42,000	0	0	42,000	0	42,000
役員報酬	422,407	4,976	0	427,383	0	427,383
役員報酬	65,000	0	0	65,000	0	65,000
役員報酬	4,770,520	68,045	0	4,838,565	0	4,838,565
役員報酬	66,277,855	3,682,103	0	69,959,958	0	69,959,958
役員報酬	957,493	0	0	957,493	0	957,493
役員報酬	897,448	45,230	0	942,678	0	942,678
役員報酬	3,914,892	615,384	0	4,530,276	0	4,530,276
役員報酬	2,725,955	775,332	0	3,501,287	0	3,501,287
役員報酬	8,374,014	1,807	0	8,375,821	0	8,375,821
役員報酬	6,066,227	32,184	0	6,098,411	0	6,098,411
役員報酬	6,971,716	382,649	0	7,354,365	0	7,354,365
役員報酬	828,000	0	0	828,000	0	828,000
役員報酬	4,889,153	20,047	0	4,909,200	0	4,909,200
役員報酬	4,102,064	0	0	4,102,064	0	4,102,064
役員報酬	12,555,980	0	0	12,555,980	0	12,555,980
役員報酬	7,416,768	3,240	0	7,420,008	0	7,420,008
役員報酬	14,244,622	0	0	14,244,622	0	14,244,622
役員報酬	3,703,649	1,491,508	0	5,195,157	0	5,195,157
役員報酬	785,418	9,100	0	794,518	0	794,518
役員報酬	18,386,954	0	0	18,386,954	0	18,386,954
役員報酬	6,438,813	0	0	6,438,813	0	6,438,813
役員報酬	0	0	0	0	28,447,889	28,447,889
役員報酬	0	0	0	0	4,330,612	4,330,612
役員報酬	0	0	0	0	15,602,544	15,602,544
役員報酬	0	0	0	0	239,901	239,901
役員報酬	0	0	0	0	1,916,655	1,916,655
役員報酬	0	0	0	0	207,103	207,103
役員報酬	0	0	0	0	218,408	218,408
役員報酬	0	0	0	0	181,410	181,410
役員報酬	0	0	0	0	3,682,103	3,682,103
役員報酬	0	0	0	0	382,649	382,649
役員報酬	0	0	0	0	1,592,040	1,592,040
役員報酬	0	0	0	0	94,464	94,464
経常費用計	292,926,221	21,696,585	0	314,622,806	28,447,889	343,070,695
評価損益等調整前当期経常増減額	-163,225,210	-20,889,000	178,017,819	-6,096,391	3,625,451	-2,470,940
損益評価等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-163,225,210	-20,889,000	178,017,819	-6,096,391	3,625,451	-2,470,940
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
固定資産売却損	0	0	0	0	3	3
指定正味財産売却損	0	0	4,787,480	4,787,480	0	4,787,480
受取寄附金	0	0	4,787,480	4,787,480	0	4,787,480
経常外費用計	0	0	4,787,480	4,787,480	3	4,787,483
当期経常外増減額	0	0	-4,787,480	-4,787,480	-3	-4,787,483
当期一般正味財産増減額	-163,225,210	-20,889,000	173,230,339	-10,883,871	3,625,448	-7,258,423
一般正味財産期首残高	-989,816,714	7,259,427	2,010,299,148	1,027,741,861	-14,548,002	1,013,193,859
一般正味財産期末残高	-1,153,041,924	-13,629,573	2,183,529,487	1,016,857,990	-10,922,554	1,005,935,436
II 指定正味財産増減の部						
受取寄附金	0	150,000	0	150,000	0	150,000
一般正味財産売却損	0	0	4,787,480	4,787,480	0	4,787,480
受取寄附金	0	0	4,787,480	4,787,480	0	4,787,480
一般正味財産売却損	0	0	-65,522,852	-65,522,852	-3,448,571	-68,971,423
受取寄附金	0	0	-65,522,852	-65,522,852	-3,448,571	-68,971,423
当期指定正味財産増減額	0	150,000	-60,735,372	-60,585,372	-3,448,571	-64,033,943
指定正味財産期首残高	1,174,631,000	133,255,570	2,573,332,898	3,881,219,468	-18,689,847	3,862,529,621
指定正味財産期末残高	1,174,631,000	133,405,570	2,512,597,526	3,820,634,096	-22,138,418	3,798,495,678
III 正味財産期末残高	21,589,076	119,775,997	4,696,127,013	4,837,482,086	-33,060,972	4,804,431,114

正味財産増減計算書

2018年 4月 1日から2019年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[11,490,389]	[11,308,535]	[181,854]
公益事業収益	[129,800,740]	[128,709,236]	[1,091,504]
受取寄付金	[199,001,423]	[200,694,795]	[△ 1,693,372]
雑収	[307,203]	[330,265]	[△ 23,062]
経常収益計	340,599,755	341,042,831	△ 443,076
(2) 経常費用			
事業費	[314,622,806]	[314,750,955]	[△ 128,149]
管理費	[28,447,889]	[29,681,429]	[△ 1,233,540]
経常費用計	343,070,695	344,432,384	△ 1,361,689
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,470,940	△ 3,389,553	918,613
損益評価等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,470,940	△ 3,389,553	918,613
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	[3]	[0]	[3]
過年度減価償却費	[0]	[4,118,808]	[△ 4,118,808]
指定正味財産へ振替	[4,787,480]	[7,162,722]	[△ 2,375,242]
経常外費用計	4,787,483	11,281,530	△ 6,494,047
当期経常外増減額	△ 4,787,483	△ 11,281,530	6,494,047
当期一般正味財産増減額	△ 7,258,423	△ 14,671,083	7,412,660
一般正味財産期首残高	1,013,193,859	1,027,864,942	△ 14,671,083
一般正味財産期末残高	1,005,935,436	1,013,193,859	△ 7,258,423
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[150,000]	[0]	[150,000]
一般正味財産からの振替額	[4,787,480]	[7,162,722]	[△ 2,375,242]
一般正味財産への振替額	[△ 68,971,423]	[△ 68,694,795]	[△ 276,628]
当期指定正味財産増減額	△ 64,033,943	△ 61,532,073	△ 2,501,870
指定正味財産期首残高	3,862,529,621	3,924,061,694	△ 61,532,073
指定正味財産期末残高	3,798,495,678	3,862,529,621	△ 64,033,943
III 正味財産期末残高	4,804,431,114	4,875,723,480	△ 71,292,366

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券等の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券…償却原価法(定額法)によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価は、移動平均法に基づく原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

建物、什器備品は定額法により減価償却を行っている。

(4) 引当金の計上基準

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付債務は期末自己都合要支給額に基づいて計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等は、税込方式により会計処理を行っている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
(基本財産)				
土地	1,139,685,568			1,139,685,568
建物	1,357,957,483	2,787,480	68,971,423	1,291,773,540
立木	1,000,000			1,000,000
美術品	1,134,631,000	2,000,000		1,136,631,000
古典籍	133,255,570	150,000		133,405,570
什器備品	2,744,002		588,000	2,156,002
投資有価証券	728,359,057			728,359,057
小計	4,497,632,680	4,937,480	69,559,423	4,433,010,737
(特定資産)				
積立預金	96,000,000			96,000,000
小計	96,000,000	0	0	96,000,000
合計	4,593,632,680	4,937,480	69,559,423	4,529,010,737

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
(基本財産)				
土地	1,139,685,568	1,139,685,568		
建物	1,291,773,540	1,291,773,540		
立木	1,000,000	1,000,000		
美術品	1,136,631,000	1,136,631,000		
古典籍	133,405,570	133,405,570		
什器備品	2,156,002		2,156,002	
投資有価証券	728,359,057		728,359,057	
小計	4,433,010,737	3,702,495,678	730,515,059	0
(特定資産)				
積立預金	96,000,000	96,000,000		
小計	96,000,000	96,000,000	0	0
合計	4,529,010,737	3,798,495,678	730,515,059	0

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	2,438,937,280	1,147,163,740	1,291,773,540
什器備品(基本財産)	42,126,653	39,970,651	2,156,002
什器備品(その他固定資産)	88,712,192	74,820,273	13,891,919
合計	2,569,776,125	1,261,954,664	1,307,821,461

(注)含むソフトウェア

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
有価証券	7,764,596	8,011,723	247,127
投資有価証券	728,359,057	1,028,377,206	300,018,149
合計	736,123,653	1,036,388,929	300,265,276

6. 引当金の増減額及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	17,080,202	4,486,262	17,080,202	0	4,486,262

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内容	金額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	68,971,423
合計	68,971,423

8. その他

(1) 金融商品に対する取組方針

当法人は、公益目的事業の財源の一部を運用益によって賄うため、債券、株式により資産運用する。なお、テリバディブ取引は行わない方針である。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式であり、発行体の信用リスク、市場価格の変動リスクにさらされている。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

① 資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

② 信用リスクの管理

債券については、発行体の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③ 市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

附属明細書

基本財産の明細、特定資産の明細及び引当金の明細については財務諸表の注記に記載しているため、附属明細書への記載を省略する。

附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項はない。

令和元年5月16日

監査報告書

私たち監事は、平成30年度における公益財団法人五島美術館の業務執行状況、及び会計帳簿並びにこれに関する資料に付き監査いたしました。

その結果、正味財産増減計算書、貸借対照表及びその付属明細書並びに財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認めます。

また事業報告の内容は真実であると認めます。

その他、理事の職務状況に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認めます。

公益財団法人 五島美術館

監事

三本繁光 

監事

秋元直久 